

# 千住真理子

## ヴァイオリン・リサイタル

11年ぶり待望の鳥栖リサイタルが決定！

Program

アメイジング・グレイス

作者不詳

主よ、人の望みの喜びよ

J. S. バッハ

ロマンス第2番

ベートーヴェン

ピアノ・ソナタ 第11番より

アンダンテ・グラツィオーソ

〜トルコ行進曲

モーツァルト

シャコンヌ

ヴィターリ

愛の悲しみ

クライスラー

愛の喜び

クライスラー

ロンドンデリーの歌

アイルランド民謡(編曲:クライスラー)

蛍の光

スコットランド民謡(編曲:千住明)

鳥の歌

カタロニア民謡

故郷

岡野真一(編曲:朝川朋之)

ツィゴイネルワイゼン

サラサーテ

信頼を寄せる最高のパートナー  
丸山滋とともに  
究極のヴァイオリンが奏でる  
至高の名曲選！

※クラシック初心者にもやさしい  
トーク付きのコンサートです。

千住真理子(ヴァイオリン)

丸山滋(ピアノ)



©bmb

©Kyotaka Saito (SCOPE)

2022年 **11月23日** 水祝 14:00開演  
[13:15開場]

**【全席指定】5,500円** (税込)

- 鳥栖市民文化会館 0942-85-3645  
HPからのお申込みはコチラ(発売日翌日から) **鳥栖市文化事業協会**
- 小川楽器鳥栖店 0942-81-2510 ■石橋文化センター 0942-33-2271
- 木下楽器店 0942-38-1111 ■TSUTAYA鳥栖店 0942-87-7707
- チケットぴあ [コード 218-534] セブン-イレブン店内 / WEB受付
- ローソンチケット [コード 81622] ローソン店内「Loppi」 / WEB受付

**鳥栖市民文化会館** [佐賀県鳥栖市  
宿町807-17]

お問い合わせ&お申し込み:

**鳥栖市民文化会館 0942-85-3645** (9:00~17:00)  
\*火曜日は休憩。火曜日が祝日の場合は翌日が振替休業  
**エムアンドエム 092-751-8257** (平日10:00~18:00)

**チケット発売** 2022年7月23日(土)10:00~

※「鳥栖市民文化会館」では、発売初日は電話予約のみで座席の指定はできません。  
(翌日以降は窓口販売で座席をご指定頂けます。)

※未就学児のご入場はご遠慮ください。 ※やむを得ない事情により曲目・曲順が変更となる場合がございます。  
※車椅子でご来場されるお客様は、ご購入前に鳥栖市民文化会館までお問い合わせください。



2020年にデビュー45周年を迎え  
ストラディヴァリウスの中でも  
最高傑作のひとつ「デュランティ」との  
運命的な出会いから20年。

## 千住 真理子〈ヴァイオリン〉

Mariko Senju, Violin

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。バガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。慶應義塾大学卒業後、指揮者故ジュゼッペ・シノーポリに認められ、87年ロンドン、88年ローマデビュー。国内外での活躍はもちろん、文化大使派遣演奏家としてブラジル、チリ、ウルグアイ等で演奏会を行う。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。1993年文化庁「芸術作品賞」、1994年度村松賞、1995年モービル音楽賞奨励賞各賞受賞。

1999年2月、ニューヨーク・カーネギーホールのウェイル・リサイタルホールにて、ソロ・リサイタルを開き、大成功を収める。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。

2015年はデビュー40周年を迎え、1月にイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」、2月にはバッハ無伴奏ソナタ&パルティータ全曲「平和への祈り」をリリース、両作品ともレコード芸術誌の特選盤に選ばれた。2016年は、300歳の愛器デュランティと共に奏でるアルバム「MARIKO plays MOZART」をリリース。またブラハ交響楽団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団と各地で共演。2017年はブラームス没後120年記念「ドラマティック・ブラームス」をリリース、また全国でスーク室内オーケストラとツアーを行い、好評を博した。2019年はベートーヴェン生誕250周年に先駆け、ピアニストの横山幸雄と「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集 Vol.1」をリリース。2020年は近年発見されたイザイの未完のソナタを新たに録音し、その楽曲を加えたイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」〈完全版〉を再リリース。春には「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集 Vol.2」をリリースした。またデビュー45周年を迎え、各地で記念演奏会を行う。

2021年7月に最新アルバム「蛍の光〜ピースフル・メロディ」をリリース。

コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)「歌って、ヴァイオリンの詩2」「ヴァイオリニストは音になる」(いずれも時事通信社)「ヴァイオリニスト 20の哲学」(ヤマハミュージックメディア)母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)「命の往復書簡2011~2013」(文藝春秋社)「千住家、母娘の往復書簡」(文藝春秋社文春文庫)など多数。

千住真理子オフィシャル・ホームページ <https://www.marikosenju.com/>



©Kiyotaka Saito (SCOPE)

「私のすべてをヴァイオリンに捧げている」  
その魂の演奏が胸を震わせる。



©bmb

## 丸山 滋〈ピアノ〉 Shigeru Maruyama, Piano

東京藝術大学大学院修士課程を修了。修了時にクロイツァー賞を受賞。植田克己氏に師事。

1992年よりドイツ学術交流会(DAAD)の政府奨学金留学生として、ミュンヘン音楽大学マイスター課程に入学。ピアノをクラウス・シルデ、歌曲演奏法をヘルムート・ドイチュの各氏に師事。1994年、ハンス・プフィツナー歌曲コンクール(ミュンヘン)において歌曲伴奏特別賞を受賞。同年、ミュンヘン音楽大学を修了。その後若い演奏家たちと様々な国際的経験を積んだ後、1995年に活動の場を日本に移す。帰国後はソプラノの鮫島有美子、テノールの吉田浩之、ヴァイオリンの千住真理子ら多くの一流演奏家たちから大きな信頼を寄せられるパートナーとして、全国各地でのリサイタルやCD、DVD、放送など様々な機会でも盛んな共演を続けている。

1997年、J.S.G.国際歌曲コンクール(東京・大阪)において優秀伴奏者賞を受賞。同年、日本演奏連盟主催「演連コンサート93」として東京文化会館でデビューリサイタルを開催。以降ソロ、室内楽、歌曲とピアノが関わる幅広い分野での活発な活動を行っている。2014年、札幌コンサートホールKitaraでの「丸山滋ピアノリサイタル〜死への追憶・生への讃歌」が札幌市民芸術祭大賞を受賞。東京藝術大学において室内楽科非常勤講師を務めた後、現在同大学声楽科およびピアノ科非常勤講師。

本公演は、新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づき、お客様の安全を第一に、最大限の感染予防ならびに拡大防止対策を講じることで開催させていただきます。何卒ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。ご来場の際には次のご協力をお願いします。

- ①ご来場の際は必ずマスク着用、手指消毒をお願いします。
- ②ご来場の前に検温し 37.5℃ 以上の発熱がある場合、および体調がすぐれない方はご遠慮ください。
- ③入場時に体温チェックをさせていただきます。37.5℃ 以上の方はご入場できませんのでご了承ください。
- ④開場につきましては、密を避けるためにもお時間に余裕を持ってお越しください。
- ⑤客席内、ロビー等での会話はお控えください。
- ⑥通路やロビー、トイレなどでは周囲の方との距離をとり、密集を避けるようにお願いします。
- ⑦今後の状況では中止になる場合もございますので、公演当日は鳥栖市文化事業協会のホームページまたはお電話で必ずご確認ください。
- ⑧ご来場者全員のお名前、ご連絡先などご提出いただきます。ご提出いただいた個人情報は、必要に応じて保健所等の公的機関へ提出させていただきます。
- ⑨会場ではスタッフの指示に従っていただきますようご協力をお願いします。